

海外安全対策情報（ポルトガル・2020年7月）

1 治安情勢等及び邦人被害の状況

（1）治安情勢等

ア 犯罪発生状況

当国における2019年の犯罪認知総件数は335,614件で、2018年より0.7%増加した。このうち、凶悪犯罪認知件数は14,398件で、2018年より3%増加した。なお、顕著に増加した犯罪は、サイバー詐欺（+66.7%）で、認知件数が多い凶悪犯罪は、1位：路上強盗（5,923件）、2位：ひったくり強盗（3,018件）、3位：公務員に対する抵抗等（1,384件）となっている。

イ 刃物を使用した強盗事件の増加

今年1月から6月15日までにPSP（治安警察庁）リスボン首都圏本部が管轄する9市で発生した刃物使用による強盗事件は259件で、前年同期比17.7%増加した。路上強盗が大半を占めているものの、商業施設や工場等を狙った事件が特に増加している。

ウ 非常事態宣言発令中の犯罪発生件数

新型コロナウイルス感染症対応として、3月19日から5月2日までの間、ポルトガル全土を対象に非常事態宣言が発令された。PSP（治安警察庁）の発表によると、3月22日から5月2日までの間、一般犯罪発生件数は、前年度同時期と比べ47%（9,084件）減少したが、金融詐欺については131%増加した。

（2）邦人被害

4～6月の間、大使館に届けられた邦人の当国での犯罪被害件数は0件であった。

2 報道による凶悪犯罪等の事例

コロナウイルス感染拡大防止のため、人の移動が制限され、また、治安当局による警戒・取り締まりが強化されていたこともあり日本人や外国人観光客を狙った凶悪犯罪被害の発生は認められなかった。

3 テロ・爆弾事件発生状況

ポルトガルにおけるテロ関連動向は把握されなかった。

4 誘拐事件発生状況

特になし。

5 対日感情
良好。

6 日本企業の安全に関する諸問題
外国籍（日本資本を含む）企業が、脅迫や何らかの事件に巻き込まれたとい
う事案の発生は報告されていない。